

臨床研究に関する公開情報

平成30年10月29日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名：「当院 NST 介入症例の下痢発現患者における使用薬剤および対応内容の実態調査」

研究期間：2018年11月から2019年2月までを予定しています。

対象：2017年10月から2018年3月までに兵庫県立尼崎総合医療センターにて NST 介入のあった症例のうち下痢発現をみとめた患者

研究目的：経腸栄養を安全に施行するためには、消化器症状の合併症予防と治療が重要であり、なかでも下痢は頻度が高く、その対応に薬剤師が関わることが多い疾患である。そこで、NST 介入症例の下痢発現患者を対象に下痢の原因および薬剤師の対応内容について実態調査を行う。

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、栄養投与経路、経腸栄養剤の種類と投与速度、使用薬剤、Clostridium difficile 感染症、病棟薬剤師の介入内容があります。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

研究責任者： 國米 由希

問い合わせ先：兵庫県立尼崎総合医療センター 薬剤部
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77
TEL：06-6480-7000 FAX：06-6480-7001